



500年、
城と生きる町へ。
くまもと

さがに
祐徳稲荷神社が
あるように、
くまもとは
熊本城があります。

毎年元旦に、家族や友人と、初詣や初日の出に明け、その年の幸せや安全を願う場所。そして、みんなの一年をずっと見守ってくれる場所。それが、さがなら祐徳稲荷神社、くまもとなら熊本城なのかもしれません。だから、困難を乗り越えて、今日の日を迎える私たちには、胸にこみ上げる思いがあります。町からいつも通りに天守閣が見える幸せと、大きな安心感、そして、今、私たちは心に誓います。築城からこれまでの400年と同じように、これから100年もまた、城とともに強く生きていくことを。「表の並木には桜を。裏の並木には栗を」。城を築いた加藤清正公の言葉のように、旅人を心からおもてなしできる、美しく豊かな城下町になることを。

本日より、
熊本城
特別公開。

